This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

OTHER:

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

- (19) JAPANESE PATENT OFFICE
- (12) Publication of laid-open patent application(A)
- (11) Publication number: 4-325964
- (43) Date of publication of application: 16.11.1992
- (51) Int. Cl.: G11B 20/02
- (21) Application number: 3-300648
- (22) Date of filing: 15.11.1991
- (31) Application number of the priority: 91-6341
- (32) Priority date: 19.04.1991
- (33) REPUBLIC OF KOREA
- (71) Applicant: SAMSUNG ELECTRONICS CO. LTD./KYUNGKI-DO (REPUBLIC OF KOREA)
- (72) Inventor: DO-SANG MOK
- (54) Copy guard system of a software program used in VTR
- (57) Abstract:

A copy guard system is provided for protecting software in a video tape recording (VTR) system. The copy guard system includes a positive edge detection circuit, a negative edge detection circuit, a counter for generating a fixed duration pulse signal, a gate pulse generating circuit, a clamp circuit, and a level detector. A pulse detection generating circuit is coupled to the level detector for transmitting a rectangular waveform to a signal killer pulse generating circuit, which generates a killer pulse in order to control a signal only during the period of having an image signal in one field.

(19)日本国特許庁 (J P) (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平4-325964

(43)公開日 平成4年(1992)11月16日

(51) Int.CL5

識別記号 广内整理番号

FΙ

技術表示箇所

G11B 20/02

L 8425-5D

審査請求 有 請求項の数1(全 7 頁)

(21) 出願番号

特顯平3-300648

(22) 出願日

平成3年(1991)11月15日

(31) 優先権主張番号 91-6341

(32)優先日

1991年4月19日

(33)優先権主張国

韓国 (KR)

(71) 出額人 390019839

三星電子株式会社

大韓民国京畿道水原市勧善区梅麗洞416番

(72) 発明者 睦 道 相

大韓民国ソウル特別市永登浦区登山4街92

現代アパート2次 701号

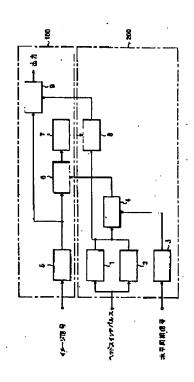
(74)代理人 弁理士 浅村 皓 (外3名)

(54) 【発明の名称】 VTR用ソフトウエアの複写防止システム

(57) 【要約】

【目的】 VTRの映像信号処理分野において、VTR 用ソフトウェアを無断複製に対してVTR用ソフトウェ アを保護する複写防止システム。

【構成】 VTRセット上に複写防止信号の有無を判断 する回路を設け、ディジタル信号処理技術とアナログ信 号処理技術を共に利用して I C化した後、VTRの記録 ループのどこでも適用可能であり、VTR用ソフトウェ アの無断複製を防止することができる複写防止用システ ۵.



1

【特許請求の範囲】

【酵求項1】 入力されたVTRヘッドスイッチパルス によりポジティブエッジを検出するポジティブエッジ検 **波プロック(1)と:入力されたVTRヘッドスイッチ** パルスによりネガティブエッジを検出するネガティブエ ッジ検液プロック(2)と;上記ポジティプエッジ時と 上記ネガティブエッジ時から夫々20Hカウントするカ ウンタプロック(3)と:上記ポジティブエッジ検波ブ ロック及び上記ネガティブエッジ検波プロックから出力 される信号を受信するとともに、上記カウンタブロック から出力される信号を受信して、上記カウンタブロック でカウントされる時間の間にパルスを発生させるゲート パルスゼネレータブロック(4)と;入力された映像信 号によりクランピングするクランプブロック(5)と: 上配クランププロックから出力される信号及び上配ゲー トパルスゼネレータプロックから出力される信号を受信 して複写防止信号の有無によって夫々のレベルを検出す るレベル検波プロック(6)と:上記レベル検波プロッ クから出力される信号を受信し、検波された被形を完全 な矩形波に作ってシグナルキラーパルスゼネレータプロ 20 ックへ出力する検波パルスゼネレータプロック (7) と:上記検波パルスゼネレータブロックから出力された 信号を受信するとともに、上記ポジティブエッジ検波ブ ロックとネガティプエッジ検波プロックから出力される 信号を受信して1フィールドで映像信号が入っている期 間に信号を制御することができるようパルスを発生させ るシグナルキラーパルスゼネレータブロック(8)と; 上記クランププロックから出力される信号を受信すると ともに、上記シグナルパルスゼネレータブロックから出 力される信号を受信して映像信号の出力可否を制御する シグナルキラープロック (9) とからなることを特徴と するヘッドスイッチパルスと水平同期信号を利用した複 写防止システム。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明はVTRの映像信号処理分野において、VTR用ソフトウェアを無断複製しようとするとき、VTRセット上に複写防止信号の有無を判断する回路を構成することにより、複写防止用信号が入っているVTR用ソフトウェアを保護する複写防止システ 40 ムに関する。

[0002]

【従来の技術】一般的によく知られているVTRの映像信号の記録システムにおいては、入力された複合映像信号が低域通過フィルタ(Low Pass Filter)を通過すると、上記の複合映像信号の中から輝度信号のみが選択され、色信号が除去されるようになる。

【0003】上記の低域通過フィルタを通過した後、入 カビデオ信号の振幅の変化がある場合、自動利得調整回 路(Auto Gain Control:AGC)が 50 動作して一定の振幅で制御する。

【0004】また、VHS VTRにおいては、上記AGCに尖頭値型(Pcak-typcd)AGCとキード(Keyed)AGCを併用して規定以上の大きさの振幅を有する信号が入って来ると、尖頭値型AGCが動作して振幅を規定の大きさに制御し、規定以下の大きさであるときは、キードAGCが動作して同期信号の大きさを規定の大きさになるよう制御してAGC出力である輝度信号の変化に関係なく同期信号の大きさが規定値に10 なる。

【0005】尖頭値型AGCのみを有する自動利得調整 回路では、画面が暗く輝度信号が小さくなり、画面の全 体大きさを一定に維持するためには、同期信号の大きさ が規定値より大きくなる欠点を有している。

【0006】また、上配尖頭値型AGCはテレビジョン電波の周期信号尖頭値が映像の明暗に関係なく一定の大きさで送って来るのを利用して、上記の尖頭値からAGC電圧を得る方法をいい、これは画面の明暗とは関係のない同期信号尖頭値を基準とし、AGC出力が大きいため、大きな雑音パルスが入ったときには、雑音パルスの電圧キャパシタンスに充電され、抵抗による放電時間が長くなることにより、大きなAGC出力がいくらか持続されて同期を不安定にしたり、コントラストを低める等の欠点がある。

【0007】上記の欠点を除去したのがキードAGCと呼ばれる方式である。

【0008】上記キードAGCは上記テレビジョン受像機に用いられるAGC回路の一つとして同期信号と同じであったり、それ以上の大きさの振幅を有する雑音電波が入って来た場合、AGC動作に乱調がないよう水平同期信号が入る期間のみ選択動作するAGC方式である。また、上記キードAGCはパルス性雑音のために生じる乱調がなく、画面の明暗に関係なく安定されるため、尖頭値型AGCより広く用いられる。

【0009】また、上記のAGC方式において、従来には複写防止機能を有するVTRを作るためにアナログ部であるAGC検波プロックで時定数値を大きくすることにより、複写防止信号がある場合、検出された信号レベルが長く持続されるようにしたり、放電時間が長くなるようにした。

【0010】また、上配AGC方式は、上配AGC検波プロックから検出されたレベルによって利得特性が変化するようになっているため、検出されたレベルが大きい場合、即ち複写防止信号がある場合、AGCから出力される信号を非常に小さくして複写がよくできないよう記録ループの信号を極めて小さく作る構造になっていたが、上記AGC方式においても時定数が変わることにより、AGC本来の特性が悪くなる欠点があった。

[0011]

【発明の目的】従って、本発明は上記の問題点を解決す

3

るために案出したもので、ディジタル信号処理技術とアナログ信号処理技術を共に利用してIC化した後、VTRの記録ループのいずれの所でも適用可能にし、VTR用ソフトウェアの無断複製を防止することができる複写防止システムを提供するためのものである。

[0012]

【課題を解決するための手段】上記のような目的を達成 するために、本発明は入力されたVTRヘッドスイッチ パルスによりポジティブエッジを検出するポジティブエ ッジ検波プロック1と:入力されたVTRヘッドスイッ 10 チバルスによりネガティブエッジを検出するネガティブ エッジ検波ブロック2と;上記ポジティブエッジ時と上 記ネガティブエッジ時から夫々20H(1H=63.5 μ sec) カウントするカウンタブロック3と:上記 ポジティブエッジ検波プロック及び上記ネガティブエッ ジ検波ブロックから出力される信号を受信するととも に、上記カウンタブロックから出力される信号を受信し て、上記カウンタプロックからカウントされる時間の間 にパルスを発生させるゲートパルスゼネレータブロック 4と;入力された映像信号によりクランピングするクラ ンププロック5と;上記クランププロックから出力され る信号及び上記ゲートパルスゼネレータブロックから出 力される信号を受信して複写防止信号の有無によって各 々のレベルを検出するレベル検波プロック6と;上記レ ペル検波ブロックから出力される信号を受信して検波さ れた波形を完全な矩形波に作ってシグナルキラーバルス ゼネレータブロックへ出力する検波パルスゼネレータブ ロック7と;上記検波パルスゼネレータプロックから出 力される信号を受信するとともに、上記ポジティブエッ ジ検波プロックとネガティプエッジ検波プロックから出 30 力される信号を受信して1フィールドで映像信号が入っ ている期間に信号を制御することができるよう添付され た第6図hのようなパルスを発生させるシグナルキラー パルスゼネレータブロック8と:上記クランプブロック から出力される信号を受信するとともに、上記シグナル パルスゼネレータブロックから出力される信号を受信し て映像信号の出力可否を制御するシグナルキラーブロッ ク9とからなることを特徴とする。

【0013】以下、上記の通り構成された本発明の複写 防止用システムの動作及び作用効果を添付された図面を 参照して詳細に説明する。

【0014】図1(A)は1フィールド内で複写防止信号が位置したところを示す図である。同図に示すように、"A"は等化パルスの前期間、"B"は垂直同期パルスの期間、"C"は等化パルスの後期間、"D"はビデオ信号の中で1フィールド内で複写防止信号が位置したところ、"E"は垂直帰線の期間、"G"はフィールドのスタート点、"G'"は次のフィールドのスタート点、"H"は水平走査期間を示す。同図(B)は一般に利用されている一つの複写防止信号の構成を示す。

【0015】上記の図1(A)、(B)において、垂直 同期パルス信号の期間中に水平同期信号が挿入されてい るが、これは垂直同期信号期間中にも水平同期が乱され ないようにするためのものであり、垂直同期信号の前後

【0016】上記等化パルス(A)、(B)の幅は0. 04Hで水平同期信号幅の半分になっており、周期は 0.5Hで水平走査期間の半分である。

には等化パルスが挿入されている。

【0017】等化パルスは飛越走査をするに効果があり、長い垂直帰線消去期間中、水平同期信号と同じ役割をし、水平同期を安定にしてくれる。また、同図に示すように、複写防止信号はフィールド始め13Hから3H 乃至7H期間の間、図1の(B)のような信号が3個乃至7個入っており、上記のような信号があると複写防止用信号で判断して複写されないよう本発明のシステムは動作する。

【0018】図2は複写防止システムのプロック図である。同図で、ヘッドスイッチパルスが入力されてポジティプエッジ検波プロック1でポジティブエッジ検波プロック2でネガティブエッジ検波を行い、ネガティブエッジ検波プロック2でネガティブエッジを検出し、水平同期信号パルスはカウンタブロック3へ入力されて各ヘッドスイッチパルスのポジティブエッジとネガティブエッジから夫々20H(1H≒63.5 μ sec)期間をカウントするようになり、ゲートパルスゼネレータブロック4からゲートパルスが発生するようになる。

【0019】また、レベル検波プロック6では、上記クランプブロック5から出力される信号及び上記ゲートパルスゼネレータプロック4から出力される信号を受信して複写防止信号の有無によって夫々のレベルを検出し、検波パルスゼネレータブロック7では、上記レベル検波ブロック6から出力される信号を受信して検波された波形を完全な矩形波に作ってシグナルキラーパルスゼネレータプロック8へ出力する。

【0020】また、シグナルキラーパルスゼネレータブロック8では、上配検波パルスゼネレータブロックから出力された信号を受信するとともに、上記ポジティブエッジ検波プロック1とネガティブエッジ検波プロック2から出力される信号を受信してフィールドで映像信号が入っている期間に信号を制御するよう図6hに示したようなパルスを発生させる。

【0021】また、シグナルキラープロック9では、上配クランププロック5から出力される信号を受信するとともに、上記シグナルキラーパルスゼネレータプロック8から出力される信号を受信して映像信号の出力可否を制御する。

【0022】図3は図2に示すディジタル信号処理部2 00の回路図(A)及び波形図(B)である。同図で、 "a"はヘッドスイッチパルス、"b"は水平同期信号

50

パルス、 "c" はポジティプエッジ検抜パルス、 "d" はネガティブエッジ検波パルス、 "e" はゲートパルス であり、発生されたゲートパルス(c)の反転波形が図 3 (B) に "f" で表示されており、上記のパルスが図 2に示すレベル検波プロック(6;図4に示すように反 転されたゲートパルスの入力) へ入力され、複写防止信 号が位置している垂直帰線期間 (20H) のみ回路が動 作する。

【0023】図4はレベル検波プロック6の回路図であ る。同図で、図3で出力されたゲートパルス出力(f) が上記レベル検波プロック6へ入力されると、図3 (B) で表示された "a" パルス始めと終りで20H期 間のみ回路が動作し、この場合、複写防止信号がある と、上記複写信号がトランジスタ (QA:)のペース電圧 より大きい信号であるときトランジスタ(QA。)が作動 し、その作動によりトランジスタ (QA1)がONにな り、従ってトランジスタ (QA2)がONになって流れる 電流がキャパシタ (CA1)に充電されるようになってい る。

【0024】このとき、充電された電流の波形は箱分さ 20 れた波形で現われ、トランジスタ (QAs)とトランジス 夕(QA1o)は複写防止信号が入っている期間、即ち各 フィールド始めから20H期間の間にOFFになり、残 り期間には飽和(Saturation)される。

【0025】凶5は検波パルスゼネレータブロック?の 四路図である。もし、複写防止信号があり、図4に示す ようにレベル検波出力信号波形があると、静電圧パイア ス回路により出力波形が図5 (C) に示すように完全な 矩形波に作られる。

【0026】図6(A)、(B)を参照すれば、検波パ 30 ルスゼネレータブロック?から受信された検波パルスシ グナルはインパータ(g)を通じて反転されてRSフリ ップフロップのクロック翰子へ人力され、"c"及び "d" 信号はNANDゲートを介して上記RSフリップ フロップのリセット端子へ入力され、"Q"端子を通じ て上記"g"信号のネガティブエッジ時にキラーシグナ ルを出力する。

【0027】図7は、図2に示すシグナルキラーブロッ ク9の回路図である。同図に示すように、トランジスタ (QC1)及びトランジスタ (QC1)のコレクタ端子は大 40 々電圧源に接続されており、上記トランジスタ (QC1) のベース端子は直流電流源を介して接続されているとと もに、上記トランジスタ (QCa)のベース端子と接続さ れている。また、クランピング出力信号は上記トランジ スタ(QC1)のペース端子を通じて入力される。トラン ジスタ (QCa)のコレクタ端子は抵抗 (RCa)を介して 上記トランジスタ (QC1)のエミッタ端子と接続されて いるとともに、トランジスタ (QC2)のペース端子と接 統されている。

【0028】キラー信号が抵抗(RC1)を通じて上記ト 50 4 ゲートパルスゼネレータプロック

ランジスタ (QCa)のベース端子へ入力されるようにな っていることにより、映像信号の出力可否はキラー信号 の人力により決定される。

【0029】従って、最終複写防止信号があると、信号 キラーブロックで映像信号を殺すことにより映像信号の 出力は発生されなく、一定のDCレベル値だけあるよう になる。

[0030]

【効果】上述したように、本発明はVTRセット内部に 10 簡単に適用が可能であり、AGC機能は固有の特性を維 持しながら新たな複写防止システムを採用することによ り、複写防止信号がある場合、正確に録画される信号を 正常的に流れないようにすることにより、ソフトウェア の複写を防止することができる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】(A)は1フィールド内で複写防止信号が位置 するところを示す図。

(B) は複写防止信号の波形図を示す図。

【図2】複写防止システムのプロック図。

【図3】図2に示すディジタル信号処理部の回路図及び 波形図。

【図4】(A)は図2に示すレベル検波プロックの回路

(B)はレベル検波プロック出力波形図及び基準電圧 (V.:.) の関係を示す入力波形図。

【図5】(A)は図2に示す検波パルスゼネレータの回 路図。

(B) は検波パルスゼネレータの出力波形図。

【図6】シグナルキラーパルスゼネレータ入出力被形

【図7】シグナルキラーブロック回路図である。 【符号の説明】

A 等化パルスの前期間

B 垂直同期パルスの期間

C 等化パルスの後期間

D 複写防止信号が入っているところ

E 20H垂直帰線期間

525H/2、1フィールド

G フィールド1始め

G′フィールド2始め

D1 水平同期信号 (4. 7μ sec)

D2 ピークレベル (3. 7μ sec (×5))

D3 擬似同期フロントポーチ (1.8 µ sec (× 4))

D4 9.4 μ sec

D5 擬似同期信号 (2μ sec (×5))

1 ポジティブエッジ検波ブロック

2 ネガティブエッジ検波ブロック

3 カウンタ (20H) プロック

(5)

特開平4-325964

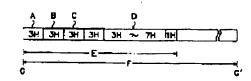
5 クランプブロック

- 6 レベル検波プロック
- 7 検波パルスゼネレータブロック
- 8 シグナルキラーパルスゼネレータブロック
- 9 シグナルキラープロック
- 100 アナログ信号処理部
- 200 ディジタル信号処理部
- a ヘッドスイッチパルス

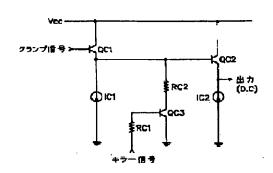
- b 水平同期信号パルス
- c ポジティブエッジ検波パルス
- d ネガティブエッジ検波パルス
- e ゲートパルス
- f 反転されたゲートパルス
- g 検波パルス
- h キラーシグナル

[図1]

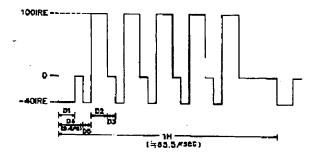
(A)



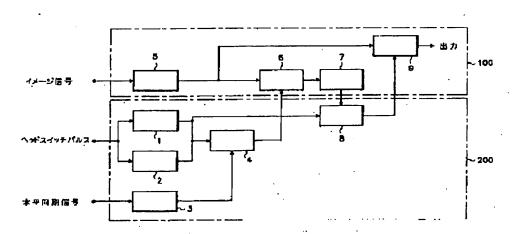
【図7】



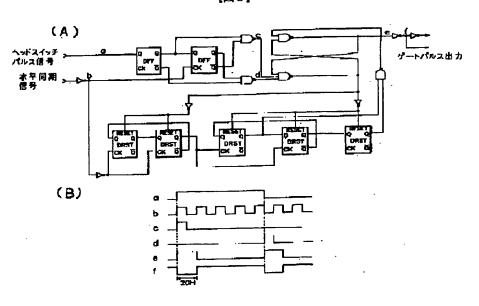
(B)



[図2]



[図3]

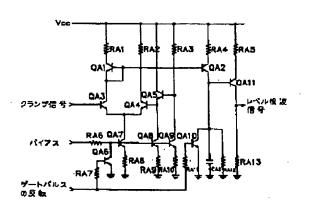


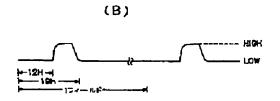
[図4]

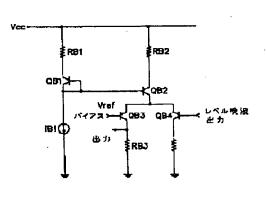
(A)

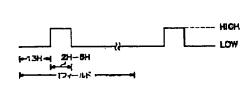
[図5]

(A)





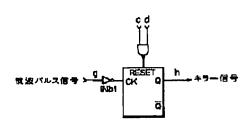




(B)

[図6]

(A)



(B)

